



中部大学春日丘高校 SGH課題研究 平成29年度 インドネシア研修の実施

● インドネシア研修の概略

昨年度に引き続き、SGH グローバル課題研究のフィールドワークの一環として、国際コース/啓明コース2年生の8人がインドネシア研修に参加しました。現地の空気を吸い、人と出会い、話すことで、多くの刺激を受けました。また、自分たちの研究に関する現地の情報を集めることができ、実りある研修になりました。

◆ 研修日時

平成29年8月7日(月)～12日(土) (5泊6日)

◆ 訪問地域

インドネシア(ジャカルタ周辺)



◆ 研修目的

- ・それぞれの研究テーマについて調査し、研究を行う資料を集め、課題探究学習を深める。
- ・現地の社会人や高校生と交流し、異文化理解・多文化共生の感覚を身に付ける。

◆ 研修参加者: 第2学年 8名

氏名	研究領域
加藤 利旺	国際開発
藤澤 咲季	国際開発
溝口 さくら	国際開発
岡戸 翔音	国際ビジネス
坂本 りり	環境・エネルギー
竹内 啓悟	国際ビジネス
田中 裕子	環境・エネルギー
森 瑛萌	医療・福祉

研究領域について

グローバル課題研究では、4領域(国際開発、国際ビジネス、環境・エネルギー、医療・福祉)に分かれ研究を進めています。インドネシア研修に際しても研究領域の中でテーマを持ち、フィールドワークを行います。



◆ 事前学習 (全6回)

インドネシア研修に行く前に、事前学習を行いました。何のために研修を行うのか、どのようなことを体験したいのかを考え、訪問先について事前に調べ、質問を考えました。よりよい研修にするためには、事前の学びが重要です。また、現地で行うプレゼンテーションや、現地校の生徒との文化交流会の準備も行いました。

◆ 研修説明会の開催

6月17日(土)に、参加生徒と保護者を対象に研修説明会を開催しました。途上国での研修のため、治安や病気の心配をしている人もいましたが、研修を安全に行うために、危機管理・連絡体制をしっかりと行っていくことを説明しました。まずは元気に帰ってくるのが一番です。ルールを守りながら、楽しく実りある研修になるよう、注意点を確認しました。

● 研修行程

月日	行程
8月7日 (月)	中部国際空港 出発 ～香港経由～ ジャカルタスカルノハッタ空港 到着
8月8日 (火)	じゃかるた新聞、在インドネシア日本大使館、 清水建設(地下鉄工事見学)を訪問
8月9日 (水)	JICAプロジェクトサイト、地域コミュニティー (南ジャカルタ)を訪問
8月10日 (木)	The 1st Japan-Indonesia SDGs Meeting 参加 ＊プレゼンテーション発表 プナブール高校訪問(ホームステイプログラム)
8月11日 (金)	プナブール高校訪問 (授業、文化交流会)
8月12日 (土)	ジャカルタスカルノハッタ空港 出発 ～香港経由～ 中部国際空港 到着



地下鉄工事見学の様子



The 1st Japan-Indonesia SDGs Meeting にて

*じゃかるた新聞

インドネシアに住む日本人向けに新聞を発行している新聞社です。ここでは、研究テーマに関する質問をし、情報を集めました。

*日本大使館

日本とインドネシアのつながりや、日本の国際協力についてご説明いただき、学びを深めることができました。ここでも、研究テーマに関する質問をしました。

*清水建設

「♪いつかきっとできるよね」のCMでもお馴染みの、ジャカルタの地下鉄工事を請け負っている会社です。実際に地下鉄の工事現場を見学させていただきました。ジャカルタの問題点や日本人と外国人と一緒に働く上での注意点なども教えていただきました。

*JICAプロジェクトサイト、地域コミュニティー

JICAが環境プロジェクトを行っている村を訪問し、現地の人々の生活に触れ、声を聞くことで、国際協力の成果や今後の課題を考えることができました。実際に、「ゴミバンク」という活動にも参加してきました。また、その地域の幼稚園や小学校にも訪問しました。

*第1回 日本-インドネシア SDGs ミーティング

中央ジャカルタの環境林業省で行われた「第1回 日本-インドネシア 高校生 SDGs ミーティング」に参加し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」について話し合い意見交換をしました。この会議では、「持続可能な世界を構築するためにわたしたち高校生が国境を超えてできること」をテーマに、日本とインドネシアの高校生が、森林破壊、貧困など世界が抱える問題、持続可能な世界を築いていくために何ができるかなどについて発表、それぞれの意見を共有しました。日本から参加したのは、文部科学省がスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定した筑波大学附属坂戸高校(埼玉県坂戸市)、大阪府立泉北高校(堺市)、そして本校の3校でした。インドネシアからは、ボゴール農科大付属コルニタ高校、国立ブカシ第1高校など5校が参加しました。生徒たちは、100名を超える聴衆者の前で、緊張しながらも、2つのグループに分かれて全員英語で立派にプレゼンテーションをしました。

*プナブール・ジャカルタ高校

「MOU(学術提携)」を結んでいる「プナブール・ジャカルタ高校」とのホームステイプログラムを1泊2日で実施し、文化交流や授業にも参加しました。生徒たちは、情の厚い、温かい国民性に魅了され、別れの時には涙が止まらず、なかなか別れられない光景が見られました。